

県道戸鹿野下之町線（戸鹿野橋） 老朽橋梁架替事業

事業継続中

電子データはこちら▶



どのような未来を目指すための事業か

既存の社会資本の機能を維持させるため

老朽化した橋梁を 架替えます

地元の声

- ・橋の上の道路幅が狭く車のすれ違いが心配。（地元住民）
- ・重量の制限がなくなると良い。（地元住民）

事業前

- ◆ 老朽化によって、橋の健全性が低下しつつあります。また、重量14t規制となっており、大型車が通行できません。



事業前の状況

事業後

- ◆ 新橋が開通することで橋の健全性が改善されるとともに、大型車が通行可能となります。



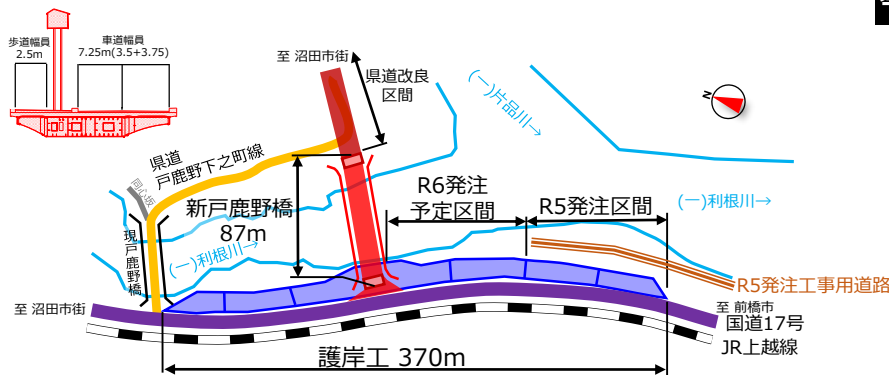
事業後のイメージ

事業の概要

- 事業箇所：沼田市屋形原町
- 事業内容：老朽橋梁架替
橋長88.0m 道路幅9.75m
- 事業期間：平成30年度～



事業の進捗状況（令和6年3月末現在）



事業のすすみ具合

事業開始 ● ● 事業完了

今、何をしているか

令和6年度は、引き続き護岸工事を実施するとともに、県道改良部分の用地買収を実施します。

現戸鹿野橋から下流を望む

